

2022年度 日本工学院専門学校											
A I システム科											
発想法											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	久保田 達也			実務経験	有	職種	世界を探検する企画マン				
担当教員紹介											
サンリオ、東急ハンズ、電通などの企画業務を歴任。インターネットを使い、世界を探検する企画マンとして21世紀の生き方の研究。通称くぼたつ。											
授業概要											
様々な発想法・思考法について、教科書等を使いながら学ぶとともに、身近な課題やAI・IoTをテーマとして発想を実践することで、各手法の使い方や留意点を身につけていく。個人作業も行うが、グループ作業を中心として進める。他者の意見を聴くこと、他者に自分の意見を伝えること、他者とのコラボレーションによりアイデアを生み出すことを繰り返し、習慣化する。											
到達目標											
様々な課題解決の場面や、アイデアを考える場面において、より効果的な発想法を選択して実践することができる。また、発想法それぞれの留意点を理解しており、他者にもその使い方を説明し、チームで取り組むことを促進できるスキルを獲得する。これらを通して、多様な意見を聴いて受け入れる寛容さと、イノベーションの原石を生み出すような大胆かつ柔軟な姿勢を身につけることを目指す。											
授業方法											
ブレインストーミングでの意見交換の時間を取り、アイデア出しの練習を行う。 また、毎回の課題提出を課す。											
成績評価方法											
試験・課題 50% 試験と課題を総合的に評価する 成果発表 30% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する （口頭・実技） 平常点 20% 積極的な授業参加度（予習の有無、発言）、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
試験・課題 50% 試験と課題を総合的に評価する 成果発表 30% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する （口頭・実技） 平常点 20% 積極的な授業参加度（予習の有無、発言）、授業態度によって評価する なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない											
教科書教材											
「思考法図鑑」（翔泳社）、「くぼたつ式思考カード」（インプレスR&D）											
回数	授業計画										
第1回	思考カードを用いて自分でアイデアを発想できる										
第2回	思考カードを用いてチームでアイデアを発想できる										
第3回	基礎的な思考法を理解し説明できる（ロジカル・シンキング、クリティカル・シンキング等）										
第4回	礎的な思考法を理解し説明できる（ロジカル・シンキング、クリティカル・シンキング等）										
第5回	アイデアを発想するための手法を理解し説明できる（ブレインストーミング等）										

2022年度 日本工学院専門学校	
A I システム科	
発想法	
第6回	アイデアを発想するための手法を理解し説明できる（弁証法等）
第7回	ビジネスにつなげる思考法を理解し説明できる（デザイン思考等）
第8回	ビジネスにつなげる思考法を理解し説明できる（逆算思考等）
第9回	プロジェクトの推進させる思考法を理解し説明できる（Why思考等）
第10回	プロジェクトの推進させる思考法を理解し説明できる（GTD等）
第11回	分析に用いる手法を理解し説明できる（相関分析）
第12回	分析に用いる手法を理解し説明できる（時系列分析等）
第13回	テーマとなる課題を解決するためにチームで相談し発想法を選択できる
第14回	テーマとなる課題を解決するアイデアをチームで発想できる
第15回	テーマとなる課題を解決するアイデアをチームでまとめ発表できる